

'82東京モーターショー

BIG SENSATION YAMAHA

ヤマハは夢をかたちにする

話題のヤマハ出展車紹介

'82 YZ80/125/250 新発売!



ヤマハに集う奥様パワー
ヤマハ奥様全国大会レポート…………… 3

〈特集〉暮らしの数だけスクーターがある
この秋も話題の主役 ヤマハスクーター…………… 8

先進技術で戦闘力アップ
'82年YZ80/125/250新発売…………… 13

●カラー

ビッグセンセーション・ヤマハ
'81東京モーターショー話題の出展車紹介…………… 15

'82年YZ80/125/250カラー紹介…………… 18

The Big Races in SUGO…………… 20
第9回 TBCビッグロードレース
'81ジャパンカートグランプリ

ヤマハショールーム……………汎用エンジン…………… 22

話のバドック…………… 23

フレンド店登場①…………… 24

連載① セールス最前線…………… 26

パワーアップ★ヤマハ奥さま…………… 28

ヤマハ★トピックス…………… 30

セフティコーナー…………… 33

SUGOインフォメーション…………… 34

ヤマハ用品★部品コーナー…………… 35



写真はヤマハ奥様全国大会でのつま恋展示コーナー。ここでは豊富なヤマハ用品類と店内演出の実例が紹介されたものですが、ひととき大きな関心を集めたのが、ファッションブルな生活提案をもち込んだこれらのステージディスプレイ。このエレガンスタイプの他にもビジネスタイプ、スポーツタイプが紹介され人気を呼んでいました。こんなハイセンスなディスプレイ、お店でもいかがですか？



通産省のグッドデザイン商品（Gマーク商品）の選定も今年で25回目。ことしもヤマハからはバセッタ、ペルーガ、RZ50の3モデルが選定を受けています。これによって、ヤマハスクーター5機種はすべてGマーク商品になったわけですが、シリーズ商品のすべてがGマーク商品というのもあまり例をみないもの。「のびのびとした精悍なスタイルは独自のムードがあり、新鮮な魅力を持っている」とはペルーガに対する選考評。どうぞ、こうした成果を秋から冬へのスクーター商戦にお役立てください。

〈表紙〉'81東京モーターショーで二輪車館一番の話題を集める「XJ650ターボ」。未来感覚いっぱいのフェアリングも、こうした風洞実験を重ね、エアロダイナミックスを追求して生まれる



ヤマハに集う奥様パワー 1981ヤマハ奥様全国大会

奥様の力をもっとご商売に！——と'79年秋に産ぶ声をあげた『ヤマハ奥様パワーアップセミナー』は、以来3年間に全国でのべ6083名という多くの奥様を動員、販売最前線でのパワーアップをはかり、昨今のスクーターブーム招来の大きな原動力となってきました。

そこで、こうしたヤマハ奥様の成果を集大成し、全国の奥様同士の親睦を深めようと去る9月17、18

の両日、ヤマハのふるさと静岡県磐田市において『ヤマハ奥様全国大会』が盛大にくりひろげられました。業界でも初めての催しとして話題を呼んだこの大会には日本全国から800名を越すヤマハ奥様が参集。大会式典、講演会、スペシャルセミナー、懇親パーティ、ヤマハ本社工場見学……と盛りだくさんのプログラムを精力的にこなし、さらに積極的なご商売への取組みに新たなファイトを燃やされていました。





社長さまが歩いて来られた世界とはずいぶんちがった形になっていることでしょう。私は女性の手でバイクを作ることを指示し、現在大いに成果を上げていますが、その女性の手で作られた商品が、また女性の手、ヤマハ奥様方によって親切に、熱心に売っていただく時代が来たと実感しております。▼子として、娘として、妻として、嫁として、母として、姑として、おばあさんとして……女性は妖しく七変化するとは、私の友人の言葉ですが、妖しくかどうかはともかく(笑)、私としては皆様にもうひとつ加え八変化していただきたい。そしてより充実した人生を歩んでいただきたいと思っています。

もうひとつの変化とは、もちろんお店の「経営者」としてです。最初はお客さまとの応待という形で1分でも2分でもよいでしょう。少しずつその範囲を広げられ、ご商売の拡大、お客さまの層の拡大につれて、社長さまとは別の、もう1人の経営者として活躍されることを大いにご期待申しあげさせていただきます。

「時代が私たちの力を必要としている」

小池社長のご挨拶の後には、映画ヤマハ・ニュースによる最近の企業活動のご紹介、さらにマルチスライドを使つてのパワーアップセミナー2年間の回顧とパワーアップした奥様方の活躍ぶりが紹介されました。

「商品ばかりでなく、生活を売る、ファッションを売る、サービスを売る、そんなカルチャー性がつよく求められる時代、社長さまお1人の力ではとても無理でしょう。まさに時代が奥様の力を必要としているのです」——のナレーションとともに、ステージには東と西で活躍めざましい2人のヤマハ奥さまと、それぞれの店を担当するヤマハマンが登場して、現場からの貴重な体験談が披露されました。(写真下)

「ヤマハとともに16年。マンネリに気をつけ、いつも新しい感覚を商売に、と心がけています。私たち女性はやはり笑顔をやさなことですね」と語る佐子弘子さん(大阪府・茨木サイクルさま・左から2人目)。「女性の力が一番発揮できるのはお客さまの応待でしょう。3年目にしようやくお客さまを観察できるようになりました」とおっしゃる今井いち江さん(埼玉県・今井商店さま・右から2人目)のお2人に大きな拍手があがっていました。(男性は左から高田・ヤマハ大阪北営業所長、見野・本社営業課長、広西・ヤマハ埼群営業課長)

この後、ステージには平井営業本部長が上がり「ヤマハ奥様がたの明るく、意欲的な表情に接して大いに意をつよくしているところです。300万台とも予測されている今年度の国内総需要も、奥様方の力があればこそ。今こそ裏方から表舞台に立って、大いに活躍ください」

と力づよく結び、1時間半にわたった式典を終りました。



ヤマハ奥さま2年生の私には
すべて参考になることばかり!

大島かつ子さま・埼玉県杉戸町(写真左)
大島オートサービス(大島孝治社長)



私などは子供も小さく、なかなか外出もできません。こんな大会にも出席するの初め、すごくよい経験でした。なんといつても、まだ開店2年、ヤマハ奥さま2年生です。全国的ベテラン奥さまの姿はどれも即参考になることばかりなんです。

平岩弓枝さんの話に感激したり、アスレチックを楽しんだりの2日間、こんな大会はぜひ来年もやって欲しいですね。絶対に参加したい!

他の奥様の活躍ぶりに 我が身の足りなさを感じ!

伊藤志津江さま・横浜市
サイクル宮田(伊藤敏広社長)

ただただ楽しかった2日間。反面もつと一生懸命売らなければ!と痛感した2日間でした。なぜって、つま恋のホテルで同室の奥様方と話があったり、式典でステージに上がり体験談を披露して下さった奥様のお話しなどをうかがっている私などまだまだ足りないことばかりですからね。

それと、ちようど店が改装中なので展示コーナーがすごく参考になりました。早くあんなディスプレイの店にしたいものです。



2日目はスペシャルセミナーで

よく学び、よく遊び

さて、明けて2日目は「つま恋」6会場に分かれてのスペシャルセミナーです。

お子さまの教育問題をお持ちの奥様方には児童評論家・阿部進氏の「現代っ子採点法」また女性としての教養とセンスにさらに磨きをというヤマハ奥さまのためにTVディレクター・渡辺みどりさんの「あなたもヒロイン」と作家桐島洋子さんの「女ざかりからの出発」

の2講座、さらに小売店の経営ノウハウをマスターしようという奥様には経営コンサルタント河村嘉一郎氏の「これからの販売店経営」……と座学4コースが開かれました。

マスコミでもおなじみの著名講師の流ちょうな語り口にと聞き入る奥様、熱心にメモをとりながらの奥様……とどのコースも熱心なヤマハ奥様で満員の盛況ぶり。

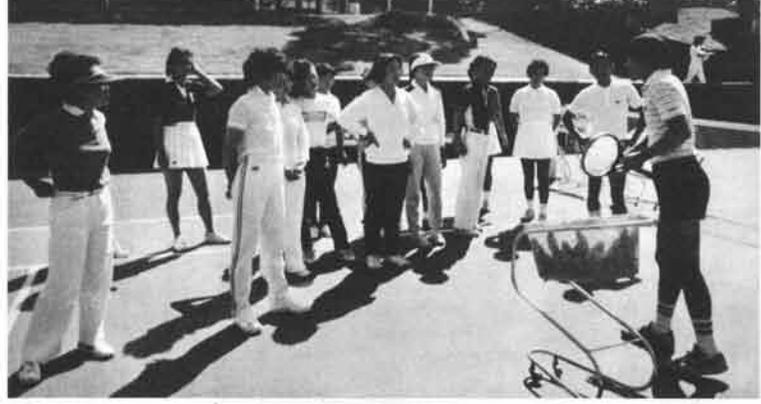
一方、この機会に「つま恋」のスポーツ施設で思う存分汗を流し、ご商売に忙しい毎日の運動不足を一気にカバーしようという奥さまのために「テニス教室」と「アスレチック教室」も行なわれました。

つま恋インストラクターの指導のもとに、さっそうと白球を追う奥様、また額に汗を浮かべながら柔軟体操に取組む奥様方……底抜けに明るい奥様方のさわやかな笑顔がなんと印象的な2つのスポーツ講座でした。

《なお、この日の座学4コースの録音テープを実費でお分けしております。担当のセールスマンにお申込みください》



↑ビデオまで駆使して密度の濃い渡辺みどりさんの「あなたもヒロイン」
←カバゴンでおなじみ阿部進氏の熱弁に思わずひき込まれてしまう「現代っ子採点法」



→さわやかな初秋の日ざしをいっぱい浴びてテニスに興じるヤマハ奥様たち



↑メモをとる奥さまの姿がひととき目立った河村講師の「これからの販売店経営」



←こちらはアスレチック教室。活発なヤマハ奥様ばかりとあって体力測定もなかなかの記録



勉強の成果を早くも実践もつ商売に活かしています

酒井恵子さま・富山市 酒井オートショップ(酒井宗一社長)

すごく勉強になった奥様大会、というのが私の実感です。特に展示コーナーのモデル展示や店づくりの相談コーナーがね。うちにはショーウィンドーもあるので相談コーナーでうかがった方法をさっそく実践していますが、おかげで展示しておいた「XV750スペシャル」が売れてしまったほどです。スペシャルセミナーでも経営講座の話を聞きましたが、もうひとつぐらいいはぜひ聞きたかった……。

本当に充実した2日間

全部のセミナーを聞きたかった!

松井由起子さま・大阪府 ニコニコ屋・松井商会(松井繁社長)

「日程をもう1、2日のばしても全部のスペシャルセミナーを聞きたかった」というのが私の感想。それほど、勉強になりました。「テニス教室」で遊んだり、全国のヤマハ奥さまと親しく情報交換できたり、本当に充実した2日間でした。展示会場でのモデルショッブなど、すぐにもうちの店に再現したいくらいです。



成果十分!

ぜひまた開催して欲しい

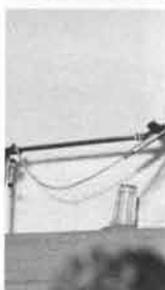
川本志津子さま・福岡県春日市(写真右) 川本商会(川本志郎社長)



↑懇親パーティーのスペシャル・プログラムは菅原洋一オンステージ。XV750スペシャルやベルーガのユーザーでもある菅原さんの2時間をこす熱唱に、ヤマハ奥様も大フィーバー

←つま恋のロビーには、店内演出のモデル展示場が設けられ、店舗診断コーナーも開設された。特に診断コーナーは、ごらんのとおりの大盛況。"お店づくりは奥様の手で、の意識の高まりのほどを示していた

↓今回のヤマハ奥様全国大会にはヤマハ本社工場の見学も盛り込まれた。女性の手でてきばきと組立てられるスクーターに、ヤマハ奥様は拡販への意欲を新たにされていたご様子



↑超満員のヤマハ奥さまを前に「女ざかりからの出発」を語る桐島洋子さん



↑川島民恵さん(浜松市・川島モータースさま)、高橋社長(特約店高橋商店)、そして小池社長の3人が乾杯の音頭をノ

←19日の夜は、ヤマハのスポーツ施設つま恋に会場を移し、コンベンションホールで大懇親パーティー



**大変勉強になった
本土の奥様の活躍ぶり**

石垣敦子さま・沖縄県石垣市
旭オートセンター(石垣雅克社長)

「女性は七変化する」という小池社長のお話と平岩弓枝さんの講演がとても印象に残った大会でした。

ここからですと往復の日程も含め1週間近くもかかってしまうのですが、それだけの成果は十分にあつたと満足しています。ただ、ちよつぱり心残りなのは、もつと本土のヤマハ奥さま方と情報を交換しあえればということ。こちらは、商売ものんびりですが、やがては本土同様の競争も始まるでしょうからな。

すべてが初めての経験、見るもの聞くものすべてが印象的でした。

スペシャルセミナーでは、河村先生の「これからの販売店経営」を受講しましたが、主婦業との兼務なのでなかなか徹底できず、残念です。

福岡から飛行機と新幹線をついでの参加でしたが、そのかいは十分、収穫の多い2日間でした。ぜひまた開催して欲しいですね。必ず出席しますから!



● 特集 ●

暮らしの数だけスクーターがある

この秋も話題の主演 ヤマハスクーター

5機種7タイプ、勢ぞろいしたヤマハスクーターシリーズの認知度アップと、それぞれの商品理解の促進をめざして、8月1日から全国展開していたオープン懸賞「ヤマハオールスクーター★クイズ」は、10月10日をもって終了しました。

「100万通」にものぼるぼう大な応募数が、いままながらにヤマハスクーターに寄せられる人びとの関心の高さを物語っていますが、それだけにこのクイズと機を一にして展開されてきたさまざまなスクーター・キャンペーンへの反響もまた絶大。秋商戦の話題をさらって、ご商売を大いにもり上げています。今月はそんな秋の主演・ヤマハスクーターの話題集をお届けしましょう――

パセッタ、ベルーガもGマーク商品に選定 すべてGマーク商品 ヤマハスクーター！

スポーツスクーター・パセッタと、本格スクーター・ベルーガ……この春から新発売のスクーター

12機種が、このほど昭和56年度・通産省「グッドデザイン商品（Gマーク商品）」として選定されました。これによって、ヤマハスクーターシリーズ5機種はすべて「Gマーク商品」となったわけです。

どうぞこの大きな成果を、みなさまのご商売に

存分にお役立ていただきたいと思います。

ヤマハスクーターのGマーク商品の選定は、昭和52年の「パッソル」翌53年の「パッソラ」そして今回の「パセッタ」「ベルーガ」と3回目。ヤマハスクーターの一貫したすぐれたデザイン、機能、品質、安全性が、消費者代表を含む各界専門家の厳しい審査によって裏づけられたものです。





今年で25年目を迎えたこのGマーク商品の選定は、通産省がデザインのすぐれた商品を選定・推奨することによって、使う人、売る人、作る人それぞれのデザインに対する理解と関心を高め、消費生活の質的向上をはかろうというものだけに、選定の意義はきわめて大きいといえます。

事実、「グッドデザイン」とはいえ、外観の美しさや獨創性がかりでなく、機能性、アフターサー

ビスを含む品質や耐久性、安全性なども大きな選考基準として盛り込まれているのです。

ちなみに、今年度は292社から2791点もの商品が申請され、119社の650点がGマーク商品として選定されています。ヤマハでは昭和32年にオートバイ業界として初めて選定されて以来10度目。なお、このパセッタ、ベルーガと同時に50ccスポーツ「RZ50」も選定されています。

全国一斉スクーターフェアの

この大きな実績を82年につなげたい!

ハヤシモーターズ・林利男社長 京都市右京区

新聞広告への店名刷込みによって積極的にお客さまの来店を促し、多彩なツールで華やかに演出された店頭ではキメ細かなセールストークの展開によって確実に売りにむすびつける——これが8月1日から10日（北海道、東北、九州）、9月1日から10日（全国）、10月1日から10日（北海道、東北以外の全域）の3回にわたって開催され、この秋の話題をさらった店頭セール「全国一斉ヤマハスクーターフェア」なのです。

「店頭の展示車を比較してヤマハスクーターのちがいがはつきりとわかった」とお客さまの評判を高めたこの全国一斉スクーターフェア。ここのヤマハ京都（株）では、これに市場特性にあわせた独自の企画をプラス、期間も10月いっぱいとして一段と活発なセールをくりひろげました。つまり、店頭フェアに合飲の郷ご招待をはじめとするプレミアムセール、免許教室動員キャンペーンさらにオールスクーターグッズをプラスしての一大セールとな



↑普段にも増して華やかに演出されたハヤシモーターズさんの店頭
↓「この実績を年末から来年へ」とハリキる林社長



お店の、もうひとつの基盤商品メイトの拡販に メイトあたたかプレゼント 好評実施中!

暮しに、ビジネスに、大活躍のヤマハメイト。スクーターならぶもうひとつの基盤商品・メイトの拡販のために10月1日から12月25日まで、プレミアムセール。メイトあたたかプレゼントを実施しています。これは、期間中ヤマハメイト50/80をご購入いただいたお客さまに、冬のバイクライフの必需品ウィンドシールドとハンドルカバーをプレゼントしていただくものです。商店や事業所などの業務需要の多いお店、従来から安定したメイト需要を持つ郡部の



販売店さま、などに特に活用いただきました。特別セールです。

81秋・冬キャンペーンご案内

ったのです。

そして、このスクーターフェアには京都府全域で297の販売店さまが協賛されましたが、左京区のハヤシモーターズ（林利男社長）さんも、大きな成果を収められた1店さん。「うちは商売の7割がスクーター。住宅地でもあるし、また近くに大学があるので大学生の需要も多いんです。そんなわけで、いつもヤマハスクーターは大量に展示しています。スクーターフェアの全協賛店の店名入りの新聞広告が京都新聞にのつた後は、さすがに反響がちがいますね」とその効果にびつくり。来店された婦人客にはパッソル&パッソリヤパセッタを、また京都ならではのという通

勤用の男性ユーザーにはベルUGを、とお客さまに合わせた売り分けが展開されています。特に、京都は狭い土地、ほとんどの職場へスクーターで十分に通勤可能なこと、市内は道路が狭く渋滞で走りにくいことから、ベルUGを通勤に使う男性ユーザーが増えているとか。「こうした市場の特性にびつたりのスクーターだけに、スクーターフェアでつかんだ波ののつて82年までつづりたいですね」と語る林社長。この全国一斉フェアをフォローして展開されるハヤシモーターズさん恒例の春と秋の店頭展示会、チラシ広告、そして12月のボーナスセールは、例年にもまして活発になりそうです。

食事というリラックスタイムの アプローチが効果を上げた 郊外レストランの展示会

オートショップ・ワタナベ 渡辺達比古社長 神奈川県平塚市

さて、全国一斉スクーターフェアとともにこの秋のスクーター商戦を盛りあげたのが、

話題の郊外レストランとのタイアップキャンペーン。急増する郊外レストランにヤマハス

クーター全5機種を展示して、ヤマハスクーター人気コンテストもあわせて実施したのも。業界でも初の試みと注目されたこのキャンペーンは、各地で予想を大きく上回る成果を収めています。

ここに紹介する、神奈川県平塚市のオートショップ・ワタナベ（渡辺達比古社長）さんは、お店が改装中というタイミングの良さ？もあって、近くの「スカイラーク桜ヶ丘店」さんでの展示会にひとときわ情力的に取組まれ大きな成果を収められたお店。渡辺社長は、このユニークなキャンペーンを次のように理解されているのです。

「この企画の目的のつけどころの良さは、仕事や家事などのわずらわしさを一瞬でも忘れる食事というリラックサスする時間と空間を選定したことでしょう。バイクだけに集中的に注目してもらえますからね。」

このキャンペーンで発掘するのは、ホット見込客というよりは、その一歩手前のウォーム見込客。それだけに積極的なアプローチで販売に結びつけなければ、そのために反応のあったお客さまには電話によるアフターフォローも行なっているんですよ。

このキャンペーンで渡辺社長が実感されたのは、商圏内にまだまだ例のウォーム見込客



お店から500mという地理的条件にもめぐまれて、展示車のそうじ、カタログやアンケート用紙の補給にと、足繁く展示会場を訪れる渡辺社長

がいかにも多いかということ。

「スカイラーク店内に常備してあるアンケート用紙回収券やカタログの減り具合が、なによりもその多さを物語っていますよ」と驚きの色をかくされませんが、事実アンケート用紙に記入されるお客さまの数は1日平均で150〜200名にものぼり、10月中旬までで5千枚は回収、またバイクカタログは1日おきに補充されても、すぐ無くなってしまいうという現状です。

またキャンペーン期間中には、スカイラー

81秋・冬キャンペーンのご案内・2

秋から冬へのビッグバイク拡販に カナディアン・クルーザー・スーパースーツ・プレゼント

爆発的ともいえるヤマハスポーツシリーズへの人気を、この秋から冬へと持続。冬

場のビッグバイク商戦を例年にも増してもりあげていただくために、11月1日から12月25日まで、カナディアン・クルーザー・スーパースーツプレゼントを実施します。10月17・18日の秋の全国一斉スポーツフェスタでも実施されたこのプレミアムキャンペーンは、期間に250cc以上のバイクをお買上げのお客さまに写真のような、ヤマハオリジナルの「カナディアン・クルーザー・スーツ」をプレゼントしていただきます。どうぞご利用ください。

クーターを会場に試乗会も開催して大好評を博していました。そしてこの効果の大きさにも「バイクは便利で楽しいですよ」と100回説明するよりも、たった1度の試乗の方が有効、確実に売りにつながっています」と改めて、乗せて売る「効果を再認識」。

「レストランとスクーター、意外な商品のタイアップだけに話題性のある良い企画だ」と思っていました。予想どおりの反響ですね。というよりも私たちがスクーターの人気には驚いているくらい。お客さまのほとんどがア



休日の夕刻ともなれば、老若男女、グループで、家族で、来店客の絶えまないスカイラーク桜ヶ丘店さん。そこでのスクーター展示は、当然のことながら注目のマト

ンケート用紙に記入されていますし、うちの店員にスクーターの質問をされる方も多いため、中年のご婦人が特に多いようです」

まさに、オートショップ・ワタナベさんにも、スカイラーク桜ヶ丘店さんにも、大きな収穫をもたらした展示会といえそうです。

奥さま方も気分そう快! 秋のスクーターツーリング

木村輪業・木村京太社長 神奈川郡大磯町

さて、キャンペーンの話題から一転、最後にご紹介するのは、奥さまユーザーによるスクーターツーリング、スポーツの秋にぴったりの話題です。

買い物に、通勤に、毎日忙しく走りまわっているスクーター、たまの休日ぐらいいはゆつくりと目的もなく郊外へと走らせてみたい、と考えるのは男性も女性もまったく同じこと。

木村輪業さんの奥さま静子さんとお客さまとのそんな発想が契機となって、体育の日の翌日、秋晴れの10月11日に実現したのが、この「女性だけのスクーター・ツーリング」なのです。

「みなさんバイク好き、そこで、大磯レディースクラブ」を作ろうと思ったのですが、いきなり女性のツーリングクラブ発足では行きすぎかな、と想って今日はそのテストケース。それと、大磯は東京や他の県から越して来た方が多く地域に密着したレクリエーションなんてないですね。そんなものに育てばすばらしいとも思っています」

さて、当日の早朝、木村

輪業さんの店頭で集合した一行8名は、パツソル、パツソラーなどそれぞれのスクーターの点検整備を木村社長から受けて、10時、奥さま静子さんのパツソラーを先頭に出発。約1時間のツーリングで、丹沢大井アスレチック場へ、休憩とおやつの後には、さらに40分走って「洒水の滝」を見物し、午後1時すぎに



最初の目的地について、想像以上の楽しさにニコニコ顔の奥さまたち



色づきはじめて木立ちを横目に、さわやかな秋風をうけてサッソーと走る



忘れていた土の匂い、スケジュールにはこんな楽しいプログラムも

目的地の金太郎園へ。ここで昼食をとったり「いも掘り」を楽しんだり。お土産のさつまいもをフロントバスケットにつめ込んで一路大磯へ。全行程約70kmのスクーターツーリングは、7時間後の午後5時に無事終了したのです。

「今まで街から出たことがなかったのですごく楽しかった。50ccのスクーターでもこんなに走れるんですね。ツーリングはとっても楽しい。ぜひまた参加したいわ……」初めてのツーリング体験に、参加されたお客さまたちの声は一律にはずんでいました。

81秋・冬キャンペーンご案内③

定期点検の定着と代替促進のキツカケに ヤマハ・シエイプアップ・キャンペーン

お客さまのバイクの使用頻度が急激にアップする年末にタイミングを合わせて11月から全国一斉に店頭展開されるのが、ヤマハ・シエイプアップ・キャンペーン。これは、お客さまの間に定期点検を習慣づけるとともに、お店のみならずには代替促進のチャンスとさせていただこうというものです。キャンペーン用店舗セットをはじめ、お客さまへのアプローチのためのツール類も豊富にご用意しました。どうぞ顧客

管理カードをフル活用して、積極的な点検のおすすすめをご展開ください。また、このキャンペーンにあわせ12月中旬まで全国8プロックにおいてスペシャル・セミナー「顧客管理のすべて」を開講します。今年度の販促活動の反省と82年のお店の販売計画立案の絶好のチャンス。どうぞふるってご参加ください。

6カ月に1回は
定期点検を

Shape Up Day
YAMAHA

7月の全日本第8戦から、国際A級ヤマハライダーの手で実戦参加を開始している'82YZ125と250。いずれもファクトリーマシンに伍して堂々の走りを披露、ハイレベルな戦闘力を立証している。



水冷、Y.P.V.S、ニューモノサス…先進技術で戦闘力アップ！ '82YZシリーズ新発売！

注目の'82年ニューモデルのトップを切って市販モトクロツサーYZシリーズが新発売となります。
YZ80/125/250の3機種、いずれも新開発の水冷エンジンを搭載。さらにYZ125と250は、Y.P.V.S

V.Sやライジンググレート式モノクロスサスペンションなどヤマハの先進技術を積極的に導入してファクトリーマシンにさらに接近。実戦能力を一段と向上させての新登場です。どうぞよろしくご拡販ください。

水冷エンジンにYEISを装備

YZ80

上級モデル同様の新開発リキッドクールエンジンにYEISを装着してミニモトクロツサー最強のパフォーマンスを実現したのが'82年ニューYZ80です。

コンパクトなニューエンジンは、水冷却とYEISの採用、さらに従来のショートストローク型からスクエアに近いボア×ストロークへの変更(47×46・5mm)などによって、毎分12250回転で19・5馬力、リッター当りじつに224馬力のハイパワーを発揮するものとなっています。

これは'81年モデルに比べ11%ものアップ。しかもYEISなどの効果で幅広い回転域で十二分なトルクとシャープなスロットルレスポンスを生み出しています。

このエンジンのパワーアップにあわせて車体関係もすべて一新。新設計のフレームは、すべてを高張力鋼製として軽量化を図りながら重量配分、重心位置、キャスター角など総合的な見直しを実施。定評の操縦性、走行安定性をさらにレベルアップさせています。もちろん、サスペンション性能も向上。フ

ロント225mm、リヤ230mmにホイールトラベルを増大するとともに、モノクロス・サスペンションには減衰力調整式ショックアブソーバー、ガス圧調整式のサブタンクを採用して、クッション性能を一段と安定させています。

また、ジュニアからアダルトまでライダーに応じてポジションの自由度を高めるため、

水冷エンジン+Y.P.V.Sでパワーアップ！

YZ125

2シーズン目を迎えますますます安定性を高めた水冷エンジンに、新たにY.P.V.Sを採用。'82YZ125は、準ファクトリー級のハイメカニズムで新登場です。

ヤマハ独自の革新メカY.P.V.Sは、中低速のトルクアップと高速域の拡大をあわせて実



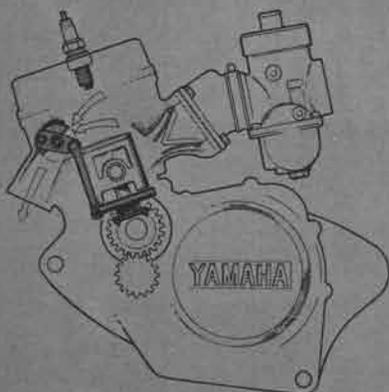
新型燃料タンクとロングシートを装備。タンク容量も5・2ℓと大型化しました。

現するものですが、ニューYZ125では、このY.P.V.Sと新設計のエアクリナー、燃焼室、エキスパンションチャンバーの採用が相まって11500回転で31馬力のハイパワーを発揮するものとしています。

また、このパワーアップにつれて、クラッチ、ミッション等も見直し、クラッチプレ

●先進のヤマハ技術●

Y.P.V.S
(ヤマハ・パワーバルブ・システム)



ファクトリーマシンYZMやロードレーサーYZR、TZなどヤマハのコンペティションマシンでその威力を立証している「Y.P.V.S」は、2サイクルエンジンの出力特性を左右する排気タイミングを可変式とし、伸びのよいハイパワーと中低速のトルクアップをあわせて表現するものです。

つまり、2サイクルは排気タイミングが早いほど高速・高出力型に、逆に遅いほど低速・高トルク型の特性となります。そこで、排気ポート部に円筒形のバルブを設け、これをエンジンの回転数に連動して回転させることによってつねに理想的な排気タイミングを確保するのがY.P.V.S。この結果中低速での高トルクと高回転時の高出力をあわせて実現しています。



トとクラッチハウジングを一新、ミッションもギヤの歯幅拡大とシフター関係の改善によって総合的な耐久性と操作性を向上させています。

一方、車体関係の最大の特徴は、ライジンプレート式モノクロスサスペンションの採用。またこれにあわせて前後のサスペンションに伸圧減衰力独立調整式アブソーバーを採用したことです。

ストロークする後輪とショックアブソーバ

新設計のリキッドクール・トルクインダクションエンジンにY.P.V.Sを装備して、より幅広い回転域でシャープなスロットルレスポンスを獲得する一方、モノサスもライジンプレート式としてサスペンション性能をアップ。定評の戦闘力を一段と磨きあげて新登場するのが、この'82YZ250です。

Y.P.V.Sの採用によって、フラットトルクとハイパワーを両立させたエンジンは、水冷化によってその性能を一段と安定させています。もちろん、この水冷システムもヤマハオリジナルのもの。YZ125同様、フレームのダウンチューブ、ヘッドパイプ、ハンドルクラウンを冷却水路とし、ラジエーターをフ



ロントフォーク上部のゼッケンプレート部に
おいているのです。

飛び石、泥はね防止、転倒時のダメージ等を考慮したこのラジエーター配置、さらにフレーム部材を水路とした合理的設計は、すべてファクトリーマシンYZM125で集積した技術ノウハウによるもの。また、ラジエーターは軽量化冷却効果の高いアルミ製、コルゲートフィンタイプを採用しています。

さらに車体関係でも、モノクロス・サスペンションのライジンプレート化、燃料タンクとシートとのコンビネーションデザインによる

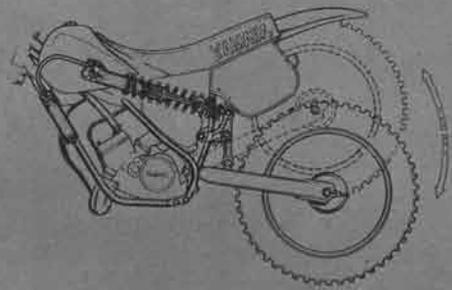
定評の戦闘力をさらにアップ
YZ250

1の働きに一定のレバール比を持たせ、荷重の増大につれてショックアブソーバーも漸増的に強く働くライジンプレート・サスに加えてショックアブソーバーの伸び側はもちろん、圧縮側でもダンピング調整を可能にしたもの。しかも、その調整幅は伸び側25段、圧縮側10

段と幅広く、好みやコースに合わせてキメ細かなセッティングを可能にしているのです。これにより、リヤホイールのロードグリップは格段に向上、エンジン出力はより効率的に引出され、また操安性の面でも大きな効果をもたらしています。

●先進のヤマハ技術●

ライジンプレート式
モノクロスサスペンション



'82YZ125/250に新採用のライジンプレート式モノサスは、'81年のワールドチャンピオンマシンYZM250で鍛え抜かれた最新技術。

これまでのリヤアームを廃し、スイングアームとクッションユニットの間にL字とI字型アーム機構の組合わせが設けられているのが特徴。路面からの衝撃は、後輪、スイングアーム→I字アーム→L字アームへと伝わるわけですが、このL字アーム独自の動きがテコとなって上下動するスイングアームの動き、即ち後輪が移動するストローク位置と伸縮するショックアブソーバーの働きに変化を生み出す、この変化が小さなショックには小さくソフトに、激しい衝撃には大きく十分なクッション性能を発揮するライジンプレートです。これにより、リヤのクッション性能は大幅に向上。ロードグリップが増し、乗心地も向上するばかりでなく操縦性、走行安定性を一段と高めたものとしています。

乗車性の確保、減衰力の伸・圧独立調整式のショックアブソーバーなど、数多くの新技術はいずれもYZ125と共通。

しかも、フロントブレーキは2リードイング式として制動力をアップ。リヤもドラム径のコンパクト化、ブレーキパベルのマグネシウム化等によって重量軽減につとめた設計としています。その他、ニーグリップしやすい燃料タンクとコンビネーションのロングシート、スクエアタイプのゼッケンプレート、ワイドデザインの前フォークエンドなどは、'82YZシリーズ共通の特徴です。

●'81東京モーターショーへのご招待●

BIG SENSATION YAMAHA

ヤマハは夢をかたちにする

10月31日から11月10日まで、東京晴海の国際貿易センターにおいて、2年ぶりの東京モーターショーが開催されています。今回も2輪車館の主役をつとめて話題集中のヤマハコーナーは〈ビッグセンセーション・ヤマハ〉をメインテーマに、先進のヤマハ技術、スクーター時代をリードするヤマハスクーターシリーズ、技術革新への挑戦・レース活動をご紹介します。文字通りのビッグセンセーションをまきおこしています。そんな中から、ここに〈時代を超えた、革新のヤマハスポーツ〉技術コーナーの参考出品4機種をご紹介します。どうぞみなさまおそろいでご来場のうえ、話題のヤマハコーナーの全容をご覧ください。



世界初。キャブ・ターボ搭載

XJ650 TURBO

●最高出力85PS ●最大トルク7.5kg-m/5000-8000r.p.m.

●世界で初のキャブレター・ターボシステム搭載モデル ●ノックセンサー付電子式負圧進角点火装置とY.I.C.Sを採用 ●エアロダイナミックス・フェアリング装備

世界初。ドライブ・コンピューター搭載

XJ1100 TURBO



- コンピューターモニターに液晶デジタルメーター、さらに世界初のドライブ・コンピューターを組み込んだ《ヤマハ・サイコム》を装備 ●ヤマハ・ニューターボシステム搭載

スーパースポーツの概念は変わる。先駆のVスポーツ

XZ550



●最高出力64.4PS / 9500r.p.m. ●最大トルク5.1kg-m / 6000r.p.m.

- DOHC・8バルブ・2エキゾースト・水冷方式Vツインのスーパースポーツ
- ダウンドラフト・キャブとY.I.C.Sを採用 ●シャフトドライブ ●モノクロスサスペンションを装備

時代を超えた、
革新のヤマハスポーツ



●これが《ヤマハ・サイコム》左がグラフィック表示のタコメーターとデジタル表示のスピードメーター。右上はコンピューターモニター、下が世界初のドライブコンピューター。コンピューターモニター内の黒マスでターボチャージャーの作動状況を表示

*《サイコム》とは、サイクル・コミュニケーションの略で、82年海外モデルに採用されているシステムの総称です。

オフロードマシンの世界が変わる。先進のエンデューロ

XT550



●最高出力38PS/6500r.p.m. ●最大トルク4.5kg-m/5500r.p.m.

●ヤマハ新開発の吸入システム《Y.D.I.S》(ヤマハ・デュオ・インテーク・システム)エンジンを搭載 ●Y.D.I.Sでハイパワーと低燃費を両立 ●軽量133kgの車両重量

戦闘カアツプ '82YZシリーズ新発売



NEW YZ250

水冷・Y.P.V.S.装備の新開発トルクインダクションエンジン、新たにライジングレート式としてクッション性能を一段とレベルアップしたモノクロスサスペンションなど……'82YZ250もまた、定評の戦闘力に一段と磨きをかけて新登場です。

●2サイクル・水冷・単気筒・246cc ●内径×行程70×64mm ●圧縮比7.0-8.6 ●最高出力41PS/8250r.p.m. ●最大トルク3.59kg-m/8000r.p.m. ●CDI点火方式 ●リターン式5段変速 ●全長2190mm ●全幅870mm ●全高1230mm ●シート高950mm ●軸間距離1490mm ●最低地上高325mm ●乾燥重量102kg ●燃料タンク容量9ℓ ●緩衝装置(ホイールトラベル)前テレスコピック(300mm)後モノクロスサスペンション(320mm) ●タイヤ前3.00-21後5.10-18

NEW YZ125

2シーズン目を迎えた水冷125ccエンジンには、ヤマハの先進技術Y.P.V.S.を新採用。新開発のライジングレート式モノクロスサスペンション、伸圧減衰力独立調整式ショックアブソーバーな

ども加えて……'82YZ125はファクトリーなみのハイメカニズム、ハイパフォーマンスで新登場です。

●2サイクル・水冷・単気筒・123cc ●内径×行程56×50mm ●圧縮比7.7-9.8 ●最高出力31PS/11250r.p.m. ●最大トルク2.01kg-m/10500r.p.m. ●CDI点火方式 ●リターン式5段変速 ●全長2150mm ●全幅870mm ●全高1255mm ●シート高940mm ●軸間距離1465mm ●最低地上高350mm ●乾燥重量91kg ●燃料タンク容量8.2ℓ ●緩衝装置(ホイールトラベル)前テレスコピック(300mm)後モノクロスサスペンション(310mm) ●タイヤ前3.00-21後4.10-18

パットリカ 装いを一新して新発売



●ロビンブルー

●ミルキーブラウン

●ロイヤルシルバー



水冷、YPVS、ニューモノサス

先進技術で



エンジンの水冷化やモノクロス・タイプのリヤサスペンションなど、現在のファクトリーモトクロスカーでは一般的にさえなっているメカニズムの多くが、ヤマハYZMによって先鞭をつけられているという事実は、なによりもヤマハ技術の先進性を立証するもの。

そしていま、さらにリファインしたこれら先進技術を採用して市販モトクロスカーYZ80/125/250の'82年モデルが新登場します— (技術紹介は13ページをごらんください)



NEW YZ80

新設計の水冷エンジンに Y.E.I.S. を装着。ニューYZ80は、ミニモトクロスカー最強のパフォーマンスを実現して新登場です。

- 2サイクル・水冷・単気筒・79cc
- 内径×行程47×45.6mm ● 圧縮比7.5
- 最高出力19.5PS/12250r.p.m. ● 最大トルク1.14 kg-m/12000r.p.m. ● CDI点火方式
- リターン式6段変速 ● 全長1790mm
- 全幅765mm ● 全高1040mm ● 軸間距離1230mm
- 最低地上高270mm ● 乾燥重量63kg
- 燃料タンク容量5.2ℓ ● 緩衝装置(ホイールトラベル)前テレスコピック(225mm)後モノクロス・サスペンション(230mm)
- タイヤ前2.75-17 後4.10-14

"やさしさ"のスクーター パッソル&

スクーター市場拡大の尖兵パッソル&パッソルDが、この秋から装いを一新。ニューカラー、ニューグラフィックで新発売されています。ニューホワイト、チャピイレッド、ロビンブルーの3カラーはパッソル、パッソルDともに共通色。シックなミルクイープラウンはパッソル、ロイヤルシルバーはパッソルDだけのカラーです。イメージ一新で売りやすさを増した"やさしさ"のスクーター、この冬も積極的にお拡販ください。

● ニューホワイト



● チャピイレッド



DES IN SUGO

えて国際色豊かにくりひろげられた3つのインターナショナルレースから、TBCビッグロードレースと'81ジャパンカートグランプリのハイライトをレポートしましょう。

●第9回TBCビッグロードレース

疾風ケニー！ 大健闘の木下



↑ 蔵王の山なみにロードレーサーのサウンドを響かせてRケニー、Vドルメン、Bシーンのリードで第1ヒートがスタート

← ビッグロード出場4回目、ケニーはこれまでになくダイナミックな走りを披露

↓ *キング、の健在ぶりを立証。熱心なファンの声援に応えるケニー・ロバーツ



500ccレーサーのクラッチスタートは大迫力。大観衆が息をのむ中で第2ヒートの開始。③は総合2位の高井、その向うは大健闘の木下、そしてポールはケニー、いずれも'82TZ500



第8回のヒーロー・シーンも1年ぶりに元気いっほいの走り



オランダのエースB・V・ドルメン



た。10月4日、抜けるような秋空のもとで第9回目を迎えたこの大会には、ケニー・ロバーツ、バリー・シーン、B・バン・ドルメン、浅見貞男と4名の世界GPライダーと、高井幾次郎以下18名の日本のトップライダーの計22選手が出場して、さながら世界GP 500ccクラスの再現。中でも注目の的は、前日までたくわえていたみごとなアゴひげを、さっぱりとそり落して決勝に臨むほどの意気込みをみせた「キング」ケニー。そしてもう一人、前日の予選で内外の強豪をおさえて1分1秒43の最高ラップでポールポジションを獲得した木下の2人。2・654kmを30周・2ヒートの決勝でも、第1ヒートからこの2人が予想どおりの猛バトルを展開。結局、最終ラップでケニーが木下を振り切って優勝をさらったものの、中盤から再三トップの入れかわる2人の攻防戦は、まさにこの大会のハイライトとなりました。そして第2ヒートは、ケニーが'82年型TZ500を完璧にコントロール。まったくの独走で30周を走り抜き、第6回大会についてビッグロードレース2度目の優勝を果しました。大健闘した木下は総合3位、2位にはベテランの高井幾次郎が入りました。

「キング」ケニー・ロバーツが目覚めるような走りを披露すれば、全日本の新チャンピオン木下恵司が、若さいっぱいチャレンジを展開して会場を沸かせる。秋のSUGOのメインイベント「TBCビッグロードレース」は、今回もまたつめかけた1万7千人の観衆に、ロードレースのダイゴ味を強烈に焼きつけていました。

THE BIG RAC

スポーツの秋たけなわの10月、宮城県のスポーツランドSUGOでは、シーズンの最後を飾るモータースポーツのビッグイベントが毎週末ごとに開かれました。外人選手も交



層の厚さを見せつけるように、この大会にも14歳から37歳までのカート仲間が参加。選手宣誓は、17歳の女子高校生、藤森由香さんによって行なわれた



↑年ねんレベルの高まりを見せるSLシリーズ戦。それを裏づけるがごとく、この大会でも各クラスで接戦が展開。インターナショナルレース顔負けのハイテク的な見せ場を随所で演じた

↓初の日本人チャンピオンが実現した'81ジャパンカートグランプリレースには、4カ国から総勢40名のトップカーターが出場。国際レースにふさわしく、ハイレベルな白熱戦が展開された

バイクとともに、今やモータースポーツの双壁をなすレーシングカートですが、そのわが国最大のイベント'81ジャパンカートグランプリが10月9日から11日までの3日間、スポーツランドSUGOの国際カートコースで開催されました。今年で5年目を迎えたこのイベントは、FIA（国際自動車連盟）、JAF（日本自動車連盟）公認による最高格式のレース。インターナショナルレースの'81ジャパンカートグランプリレースを筆頭に、ダンロップ杯インターナショナルオープンレース、'81SL全国チャンピオン大会のレディス、S1、S、Aの各クラスレースが行なわれました。そのメインレース、'81ジャパンカートグランプリ

レースには、わが国の精鋭のほか、オーストラリア、オランダ、ニュージーランドから世界に名だたるカーターが出演。各予選6ヒート、決勝3ヒートの白熱戦のすえ、日本人カーターが上位9位までを独占するという大会初の快挙を成し遂げました。一方、全国各地で展開されているSLシリーズの最高峰ともいえる'81SL全国チャンピオン大会には、レディス11台、S120台、S25台、A30台の4クラス総勢86選手がチャレンジ。年間300レースが消化されているという普及ぶりにふさわしく、北は北海道から南は四国まで、14才からは37才までのSLカーターによって、レベルの高い好レースが展開されたのです。

4カ国から126選手が出場 ハイレベルな国際レースを展開

●'81ジャパンカートグランプリ



Yamaha Showroom



暮らしに、産業に、幅広い分野で活躍するヤマハ汎用エンジン。これもヤマハのエンジン技術から生まれた商品のひとつです。
芝刈機やゴーカートなどの家庭用、レジャー用から

ウォーターポンプ、コンプレッサー、ベルトコンベアなどの土木建設作業、さらにのり摘機や動力噴霧機などの農林業・漁業まで、文字通りの汎用ぶりを発揮して世界の人びとの暮らしに役立っています。



●カギは女性

全国で自動車の保有率が一番高いのはどこでしょう。これが意外や意外、群馬県なのです。群馬県での自動車一台あたりの人口は2・24人で、2位以下の長野県や宮崎県を抜いてトップに立っています。乗用車だけに限っても、世帯普及率が0・95の群馬県がやはりトップに。

それにしても、なぜ群馬県が……と首のひとつもかしたくなりますが、どうやらこれは、女性ドライバーにあるようです。同県の全ドライバーの中で女性の占める割合は約34%で、他の宮崎(31・3%)、愛知(31・0%)を大きく引き離しているのです。

「メドラ」などと偏見視していた時代は、もうとつくに通り過ぎています。そういえば、昨今のスクーターのブームも、女性の力に依るところが大きいですネ……。

●健康管理は時間の管理で!

あなたは健康ですか? 首都圏の主婦400人を対象にしたある調査の結果で約9割近くが「健康だと思ふ」「やや健康だと思ふ」という回答を出しています。しかし、健康とはいっても「日ごろから何らかの症状に悩んでいる」という主婦が66%を占め、「健康」な人の中に「何らかの症状」が潜在していることがよくわかります。

日本人の多くが「中流意識」を持っていながら「今年も実質賃金は目減り」という調査とどこか似ていますネ。ところで、本当の健康を維持するのにスポーツは欠くことができませんが、この調査では約7割の主婦が「スポーツの

ためのヒマがない」と回答しています。やりたいスポーツは、①テニス②水泳③美容体操④ヨガ……と限りなく回答は続くのですが、ヒマがなければどうにもなりません。健康のためには、まずヒマをつくるのが先決なのでしょう。

●ジャギーでスリムに!

中年の女性の間でジャギーが大いには、

やっています。太目の女性がヨガやテニスで細目になろうとヤツキになっていたのはもう古いおハナシ。いまはジャギーなのです。

ジャギーとは、ジャズダンスとジムナステイック(体操)をとりまぜた日本生まれの踊りで、美容体操よりもはるかにリズムステイックで面白いそうです。ブームを起したのは、あのダンサーの川三郎氏で、彼によると「ジャギーはジ



ャズダンスの主要素だけをとって、これにバランス運動を加味して作ったものだそう。

東京の高島屋にもジャギー教室があります。「耳でジャズのエイトビートを聞いて、それを頭がすばやく体に命令して踊るのよ」とミセス・ジャギーは語りますが、太目が細目になり、にぶい頭の回転がよくなるなら一回千五百円(入会金約五千円)の講習料もなんのその、主婦

たちはジャギーへ、ジャギーへとなびています。

●ガイドマップ——ジョギング編

今やファッションやライフスタイルのひとつとして完全に定着した感のあるジョギング。

こんな最近のジョギング大人気の中で、都内のあるホテルでは、ジョギング・ガ

イド」を作り四つのコースを紹介して喜ばれています。「外人客の方からジョギングコースの問い合わせが多いものですから……」とは、ホテル側のお話ですが、実際このホテルのそばには、迎賓館や東宮御所、国立競技場、神宮の森などがあり、たいへんコースに恵まれているのです。

●韓国産もたちまち「京松茸」

秋もグツと深まり、食欲の秋を決めこんで味覚を楽しんでいる方も多いことでしょう。秋の味覚の王様は何といつても松茸。今年は豊作で、去年より値段も安かったし、お隣の韓国産も豊作だったようで、「久しぶりに松茸ご飯を食べた」などという方も多いことでしょう。

松茸の生命は、あの香りと歯ざわりのよさだけ。あの香りの正体はマツタケオールなる物質で、ナント化学的に合成できるのです。食品添加物「マツタケエッセンス」という名で売られているのがそれ、香りの薄い韓国産でも、これを振りかければ、たちまち「京松茸」に化けられるというほど。

最近注目されているのが、福井県でできる「娘松茸」。ブラジル産の菌を日本で人工栽培したのですが、なかなかの珍味。腹水ガンにも効くそうです。生の季節はもう終わりましたが、乾燥したものをデパートなどで売っています。今年も食べそこねた方、遅ればせながらいかがです?



富士見商会

稲葉健二社長

埼玉県富士見市水谷東2-61-7 ☎0484(71)3393

フレンド店
登場

'81-11



↑ 定例免許教室に参加できないお客さまのために、実習セットを使って奥さま雪枝さんのマンツーマン教室も開かれる

← 担当のヤマハマンと次回展示会に使う折込みチラシの内容を検討する稲葉社長

展示会、免許教室、点検サービス 徹底した基本活動で 地域の信頼を高めていきたいです。

「駅前のスーパーで5年前からつづけているうちの展示会は、もうのべ30回くらいになりますね」という稲葉社長の言葉に、富士見商会さんのご商売の姿が集約されています。

「そして安全点検サービス……と基本作業を確実に実践されていること。まさに『高い』は『飽きない』というところ。そして、この実績は秋の全国一斉スクーターフェアの後、さらに大きく実のりつつあるのです。」

● 年間9回にのぼる展示会開催

典型的な東京近郊のベッドタウン埼玉県富士見市。稲葉社長と奥様雪枝さんが、ここに自転車との併売店「富士見商会」を開店されたのは昭和39年、地名もまた富士見村の頃のことです。以来急激な人口増加とともに村から町へ、町から市へと周辺の様相もめまぐるしく変わりつづけてきました。

こうした中で「富士見商会」さんの商圏は半径4キロにおよび、この中には富士見市、お隣の志木市、新座市、三芳町と5つの地区を含み、旧市街あり、新興住宅地あり、さらに農村部あり、とバラエティ豊かな特性をみせています。なにしろ、バスの終点付近では公共交通機関が未整理で自転車やバイクで駅まで通わなければならない人も多いという所。それだけに、ぼう大な需要が潜在するめぐまれた商圏でもあるのです。

では、こんな市場で「富士見商会」さんが実施している市場開拓の手法は？ といえは51年にバイク専門に路線変更して以来継続的に開催している展示会なのです。

「今では展示会もバイク販売には当り前のものになりましたね。特にこの周辺ではお客さまにも十分に浸透し効果も大きいです。なにしろうちでは、もう5年も続いているのですから」と稲葉社長は5年のキャリアを強調。この「富士見商会」さんの展示会は、東武東上線志木駅前のバラエティストアー「志木ファイブ」と同線みずほ台駅前のスーパー「東武ストア」の2カ所でシーズン中の土曜・日曜の2日間にわたり開催されているもので、今年のはのべ9回が実施されることになっています。



→お2人のコンビ
ネーションもす
ばらしい稲葉社
長と奥さま雪枝
さん

←店頭展示コー
ナーには、スク
ーターシリーズ
R Z 50が

↓万全のアフター
サービスのため
にパーツ類のスト
ックももりだ
くさん



富士見商会さんのご商売の概要

- 商圏……新興住宅地の中で半径4キロを商圏にご商売を展開。
- 店舗……総面積20坪、間口5間、展示スペース5坪、展示台数約70台、サービスコーナー2坪。
- 顧客……スクーターが主体。全体の6割は女性客で、中でも主婦が多い。
- スタッフ……稲葉社長と奥さま雪枝さんの2人ですべてカバー。免許教室や登録は奥さまの仕事。
- 販促活動……シーズン中は毎月1回展示会開催。開催告知チラシをそのつど1万枚程度、新聞に折込む。第1・第3日曜に自主免許教室開催。

「5年前から通算するとうとう30回以上になりますね。毎回確実に実売台数を上げていますし、このお客さまの口コミ、また展示会開催の告知チラシがきっかけとなってお客さまを増やしています。最近では短大に通ううちの娘がコンパニオン役、チラシの配布などしているんですが、展示会の後はいろいろな電話の問い合わせも多いですよ」

●免許教室は毎月2回、 定地定例で開催！

需要期の9カ月間、確実に毎月展示会を開催されるという稲葉社長の意志のつよさもご立派ですが、それにもまして驚かされるのがこの展示会が告知から開催まで社長と奥さまのお2人で実施されていること。そしてさらに、この展示会で発掘した見込客の受皿として自主免許教室が確実に実施されていることです。それも毎月2回も……。

「それは私の役目なんですヨ。毎月第1と第3の日曜日、店の2階を会場に原付ビデオ講座を使ってやっております。試験場への送迎は主人がやってくれますけどね」と、免許教室は奥さま雪枝さんの担当。また、この定地定例教室のあい間をぬって希望者が見えられた時には、奥さまがその場で教室を開講されているというほどの徹底ぶりです。

●お客さまとの大切な接点、 点検サービス！

もの静かな口調でお店の活動を説明される

稲葉社長。しかし、その地道な基本作業の徹底ぶりに驚ろいていると、さらにもうひとつ大切な活動があったのです。

それは安全点検サービス。しかも「富士見商会」さんの点検サービスは、お客さまとの重要な接触の機会でもあるのです。

「最近のスクーターやバイクは、性能も品質も完全。故障なんかありませんからね、めつたに。逆にお客さまの来店機会が減ってコミュニティションを保つのがむずかしいんですよ。そこで点検サービスが大切なんです」

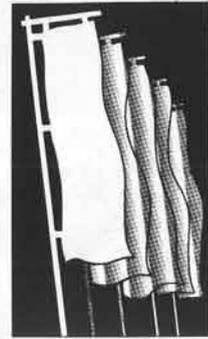
新車購入のお客さまには「何キロ走ったら点検に来てください」と必ず話されていますが、これがメカ音痴の奥様ユーザーには大変に心づよい言葉になっているのです。また、この点検の機会に服装や乗り方まで、キメ細かなアドバイスをなされていますが、これも用品の売上げや、後の口の口コミに大いに効果を発揮されているようです。

じつは「富士見商会」さんのこの点検サービスは、先の展示会や免許教室よりも長い歴史を持つもの。この地に開業されて、まっ先にアプローチを開始したのが新聞店さん。「なにせ新興住宅地ですから、新聞店さんを核として需要を広げていこうと思っただけです。まっ市内3店の新聞店さんを顧客化したのです」バイクはメイト50。このおつきあいはいまでもしっかりと続き、3店で約30台のメイトが使用されていますが、これも確実なアフターフォローがあつてはじめて実現していることはいうまでもありません。

「これからは、さらに郵便局や銀行などにもっと働きかけていきたい。店に対する信頼度を高めるためにね。すでにその一環として、いま地元の不動産会社とタイアップ。紹介販売制度をスタートさせたばかりなんです。また、うちは売れ筋商品しか展示してない。それだけにいろいろな活動の成果もはつきりと出やすいんでしょうが、全国一斉のヤマハスクーターフェアなども特に効果を上げていますよ」と、今後のご商売に、ますます意欲的な稲葉社長。そこには、確実な基本作業の実践による、大きな自信が息づいているよう

セールス最前線

●吉川 雅之
(産業能率短期大学講師)



前回のこのコーナーでは、販売店さまの広告・宣伝活動について、基本的にはどのように考えたらいのか？ をご紹介しました。そこで今月は、もう少し具体的に販売店さまが活用可能な広告媒体とそれぞれの得失を考えてみましょう。

訴求したい内容と対象を吟味すれば 最適な広告媒体はおのずと決まる！

販売店さんがメーカーと基本的に異なるところは、ある一定地域の顧客を対象としているという点です。

したがって、メーカーが行うような全国的規模の広告は、経費がかかるだけでなく全く意味のないものになる可能性があるともいえます。

とはいえ、販売店さんの広告が、いつまでもチラシとDMだけではないでしょう。他の媒体も使うようによっては、大きな可能性を持っているもの。そこで今月は、さまざまな広告媒体と、その特性について考えてみましょう。

地域を限定しにくい新聞広告

新聞は販売店さんにとって地域を限定しにくいところから、使いにくい媒体のひとつといえます。新聞も各地域ごとに地方版というのがあり、対象の限定はできますが、せいぜい県単位ぐらいの広告であり、それだけ費用も高くなり、地方紙といえども、何店かの共同広告でなければ使いにくいといえるでしょう。

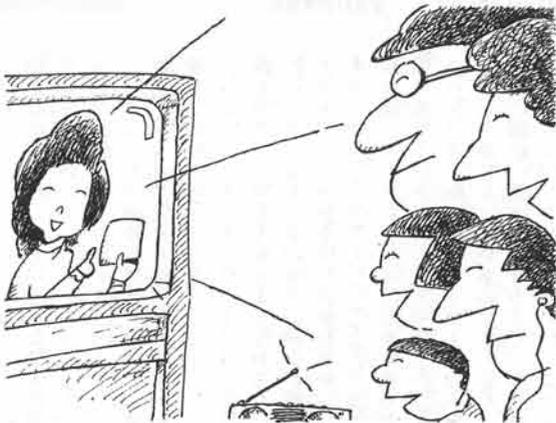
新聞広告の特徴としては――
●幅広い対象層に訴求ができる。
●新聞に広告を掲載している店、ということだけで信用が得られる。
●活字を使うので消えることがなく、論理的な説得ができ、切り抜いて保存もできる。
●他の効果があります。特別なセールスや催しものなどの時には利用が可能な媒体といえるでしょう。

対象によっては効果的な 専門誌広告

新聞よりも地域限定がしにくく、ほとんど全国に広がってしまうというのが雑誌広告の特徴です。
しかし、その分を専門誌などを使うことによって、対象層を限定することでカバーすることができま。

しかも専門の雑誌の読者は、関心も強いので、じっくりと読まれるという利点もあるのです。
その他の雑誌広告の特徴としては――

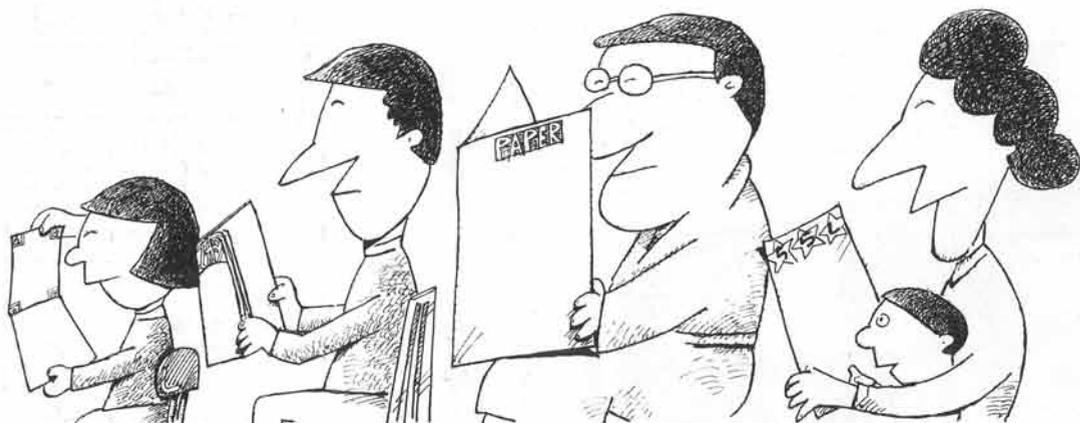
●新聞と同じように信用を得ることができる。
●記録や保存がしやすいため、効果が長い間持続する。



●新聞以上に論理的な訴えかけやムード的な訴求が可能。

意外に大きいラジオスポットの効果

これもやはり地域をあまり小さく限定するには不向きという難点がありますが、テレビ広告などと比較すると料金も安く、その分利用しやすい媒体といえるでしょう。



したがって、販売店さんでも番組提供まではともかく、スポット広告（番組と番組の間に入れるもの）や案内広告は比較的安い料金で利用可能となります。

ラジオ広告の特徴としては――

- 前後の番組や時間により対象者を選べる。
- 音だけなのでムードに訴えやすい。
- 速報性がある。
- 対象者が広い。
- 四輪ドライバーなどのように何かをしなから聞くことができ、仕事中の昼間でも効果がある。

テレビCMは効果も経費もビッグスケール

これまでに述べた媒体の中で最も新しい広告媒体ですが、今や広告の王座を占めていることはご承知のとおりです。

- 表現力は視聴覚に訴えるので最も強い。
- 幅広い対象層に訴えられる。
- 注目率が高い。

このようにテレビ広告は効果も大きいのですが限界もあります。第1は経費の点です。第2は記録性がなく、ラジオと同じく一回ごとに消えてしまい、短時間の広告ですから複雑な内容は伝えるににくいということです。

テレビ広告は料金も高いかわりに効果も大きく、開店記念セールや特別なキャンペーンのお知らせなどに使うことができれば大きな効果があげられます。

見直したい折込みチラシの得失

チラシ広告については販売店のみならず、すべてによくご存知のことと思いますが、ここで、もう一度チラシの基本について考えてみましょう。

長所としては――

- 地域をかなり狭く、商圏内に限定できる。
- 費用が安い。
- 主婦が買物情報としてよく読んでいます。
- 製作期間は原稿さえできれば一週間ぐらい

で配布でき、企画から実施まで短い期間で仕上ることができ、

しかし一方でデメリットもないわけでは、ありません。

- 1回に折込まれるチラシの枚数が多くなりすぎており、効果が相殺されてしまう。
- 社会的な信用は得にくい。
- 手軽にできるので簡単に使われてしまう。

良く見られている交通広告

ここでいう交通広告は電車やバスの車内の広告から駅や待合室のポスター、看板類などです。

- 乗客のひまな空白時間を利用するため、よく読まれ、理解される。
- 地域的に集中できる。とくに駅貼りではその駅の利用者だけに訴求でき、とくに通勤客には何日も読まれ、それだけ反復訴求もでき効果も上げやすい。
- 経費が安い。
- 印刷効果、表現力が優れている。

以上が長所ですが、次のような欠点も考えてください。

- 通勤者など対象が限定され、当然のことながら家庭の主婦などには向かない。
- 記録性がない。
- 枚数が少ないため、一枚あたりの印刷費が割り高になる。とくに看板などではそのための製作費もバカになりません。

交通広告は最近の調査によれば、よく見られ、読まれています。ある程度、文字を多くして論理的、説得的な内容でも通用するようになります。

お客さまに優越感を与えるダイレクト・メール

小売店の行う広告としては使いやすいもの一つです。

- このDMのメリットは――
- 特定の対象者だけに送れ、対象をいくらかもしぼることができる。

●個人的な親しみが出せ、相手のエリート意識にも訴えられる。

●注意力を独占できるため強力な印象を与えられる。

- 内容が自由で印刷物のカラーや大きさの制約もなく、小さなプレゼントなども送ることができる。
- 予算がわりと自由であり、最低一人からでも送れる。
- アンケートなどの調査にも利用できる。

これに対してDMの欠点や留意点は――

- 一人あたりのコスト（経費）が高つく。
- 名簿の管理が重要で成功・不成功の半分以上がこれにより決るといわれている。
- 名簿管理から発送まで販売店自身の手間がかかる。
- 対象が限定され、広く一般への訴求はできない。
- 郵便法の規定に合格しているかどうかのチェック、たとえば大きさ、重さ、封筒やハガキの表面の印刷、切手や宛名書きの場所などが必要。

以上、販売店さんとして利用可能な媒体についてその得失を考えてみました。またこの他にも細く見ればいろいろあります。

- 交通広告以外の看板。
- 映画、スライドなどの劇場用広告。
- 有線放送。
- ネオンサイン。
- 手配りや投げ込みによるチラシなどです。

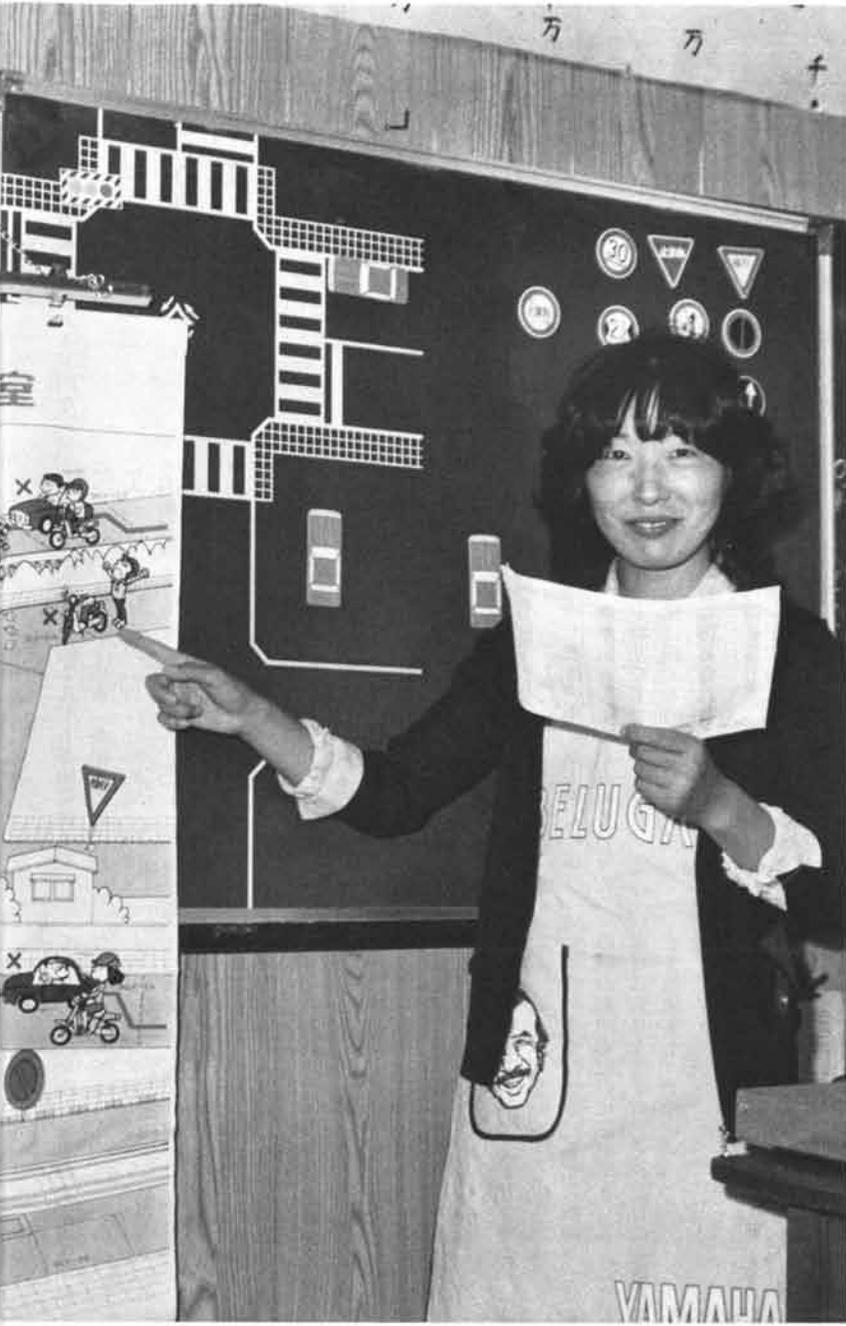
この中には新聞やテレビなどのように「ウチでは無理だ」と思われているものもあるでしょう。しかし頭から無理だと否定することはよくありません。例外販売店さんが大規模な広告あるいはユニークな媒体で成功したという例もあるからです。

顧客対象、そして訴えたい内容の両方をじっくりと考えた時、広告の媒体も自然と最適なものが浮かんでくるものです。

ナンバー
1
 奥さま

このページは、ヤマハ奥さまのためのスペースです。奥さまの話題や奥さまから寄せられたメッセージ、さらに奥さまにお役立ていただける情報のかずかずをとりあげてまいります。ぜひ奥さまもこの訪面にご参加ください。なお、ご投稿の宛先は、
 〒438 静岡県磐田市新貝2500
 ヤマハ発動機株式会社 宣伝部 宣
 伝一課 ヤマハニュース係
 ☎05383-2-1111(内356)

経験不足は熱意でカバー
免許教室講師ナンバーワン奥さま
 永山孝子さま 埼玉県久喜市中央・オートショップ永山商会(永山勝枝社長)



「原付免許教室の講師は私の役目」いまでは、こんなヤマハ奥さまの姿は当たり前さなりつつあります。それでもハリキリ奥さま永山孝子さんの熱の入れ方は特筆もの。ご主人のサポートで始めた孝子さんの教室が、いまではご商売を支える大きな柱のひとつにさえなっています。

●もっかお店の原付免許教室のインストラクターとしてノリまくっていらっしやるとか——
 ええ、今は免許教室が楽しくてしょうがないというところかしら。今年の2月にヤマハ増群の原付指導員研修会、2泊3日の特訓で指導方法をマスター。その後普及協の原付準

●その後の成果のほどはいかがです——
 指導員の資格も取りましたが3月、4月は店にヤマハのインストラクターの方を派遣していただき講習ぶりを勉強。本格的に私が1人で講習を始めたのは5月からですね……。

5月から9月まで毎月1回、5回の講習しかしていませんが毎回10名以上のお客さまが集まるんです。それにも増して私にやる気を起こさせてくれているのが優秀な合格率。この9月には16人のお客さまが受験されて、なんと14人も合格されたんですよ。経験はまだですが、なにか教えることに自信がついてきたみたい。

●お客さまの前でアガられるようなことは——
 初めての講習で第一声をいったときから、緊張なんて全くありませんでした。でもときどき「むずかしい質問されたらどうしよう」なんて弱気が出ることもありますけれど。

●うまく教えられるコツみたいなものは——
 こちらも一生懸命わかってもらおうとすることですね。お客さまは本当に真剣な方が多いです。こちらから、こちらに負けない誠意をもってやらなければ。お子さんを連れて見られる主婦の方などを見ると、「こんなにご苦労されてまで免許をとろうとされている。それほど免許・バイクが必要なんだな」とついこっちも話す言葉に熱が入ってしまいますね。

●いまやお店のご商売にとって奥さまの免許教室は欠かせぬものに……。
 そうですね(笑)。主人も最初は「免許教室は私がやるわ」っていったら、「以前からそうして欲しかった、これで店の仕事に専念できる」って大賛成だったんです。とはいっても大切な受験生の送迎は、主人の役目。また折込チラシなどもやってくれますのでお互いさまですね。

それはともかく、うちの免許教室のもうひとつの特徴は、実売率がほぼ100%だということですね。新しいパセッタやベルギーはもちろんパッソル&パッソラの人気の根づよさにはこっちがびっくりです。

●さて最後にこれからの抱負を——
 いまは近くのソロバン塾の教室を借りて会場にしているんですが、やはり将来は店の内に免許教室用の部屋を持ちたい、というのが夢ね。それと毎回、最低でも20人ぐらいは集まって欲しいワ。

私の読書

灯火親しむ頃、今月のテーマはヤマハ奥さまの読書習慣です。二商売の参考書、実用書、話題のベストセラーから推理小説……まで奥さまの熱心さには、またしてもビックリ。活字離れなんて別世界の話のようです。

読書はもっぱら経営書

役立つ『自転車店繁盛の秘訣』

岡嶋春子さま

北海道滝川市

オカジマS（岡嶋収二郎社長）

やはり商売の参考になるような本が多いですね。たとえば「商売の秘訣」だとか「商売繁盛」などね。夕食がすんで8時頃からの私商売モノは、店のテーブルにいつでも置いてあるんですよ。

そうそう本屋さんでたまたま見つけて買ってきた『自転車店繁盛の秘訣』って本は、役に立っていますよ。チラシをつくる時なんか季節感のあるキャッチフレーズがすぐ浮かんでくるようになりました。

お客さまに貸した「新書太閤記」

もつか全8巻読破に挑戦中！

福田圭子さま

岩手県盛岡市

福田オートサイクル（福田備三社長）

高校生のお客さまから「新書太閤記」を借りて読んでいますよ。たまたま店でテレビの女太閤記の話をしていたら、「おぼさん貸してあげるよ」なんて。現在3巻目（全8巻）に入っています。読みだすと熱中して時間の過ぎるのも忘れてしまいますね。本屋さんに行く機会なんてほとんどないし、新刊本なんてどんなのが出てくるかわからないものね。でもバイク雑誌はだいたい目を通していただきますよ。



最近読んだ本は「父よ、母よ」 活字離れしないよう心がけています

鈴木良子さま

東京都小平市

（株）鈴木輪業（鈴木昇社長）

少しでも多く本を読みたいと思っただけですが、時間がなくてというのが現実ね。でも子供が中学生なので、その年代の子供たちの非行問題などをとりあげた「父よ、母よ」なんていう本を最近では読んでいます。普段目が届かない子供たちの悩みなんかを知りたいと思っただけね。あとは読書といってもほとん

ど雑誌ですね、若い女性向けの。でも本屋さんにはよく立寄りますし、活字離れはしないように心がけています。

自転車での日本一周旅行記

読んでいる方がもうドキドキ

加納はまえさま

岐阜県可児郡

加納輪業（加納寛之社長）

主人がちょくちょく小売店向けの専門誌を買ってくるんです。それを私も小マメに読んでいます。夜の2時間ほどが私の自由時間、この時とばかり本を読むようにしています。

最近読んだ本の中で特におもしろかったのが、題名は忘れてしまっただけ、自転車て日本一周をした人の旅行記。知らない土地、知らない人との出会い、読んでいる方がドキドキしてしまいました。

ベストセラーを読んで

若い人のこころを読む！

芝崎繁代さま

和歌山市西長町

芝崎商店（芝崎辰雄社長）

私はマンガのかわりに小説を読むほど好き。ベストセラーの本なんか気になって、本屋さんをよくのぞくんですよ。「茜いろの坂」を今読んでいます。面白いですね。サイクル活動などにあまり行かれないので、そのかわり本を読みます。はやりの本を読んでいるとね、若い人の心がかかめるっていうか、話しが合うんですね。そんなところが商売にも役立つんですね。でも、商売に買った本は読みませんね。

「大河一滴」を

思わず涙ぐみながら読みました

小林遼子さま

岡山県吉田郡

小林サイクルセンター（小林弘社長）

小児麻痺の主人公がでてくる問題小説「大河一滴」。これはとても良かったですね。私にはもうすっかり感動して、たびたび涙ぐんでしまいました。もう一度読んでみたい1冊ですね。それと、もう子供たちが結婚適齢期です。冠婚葬祭や、手紙の書き方の本などを読んでいますよ。私も結婚前はよく小説を読んでいたんですが、最近は時間的な面などで、なかなか本に手を出せないんです。それでも、新聞は毎日すみからすみまで読んでいます。

インテリア雑誌と推理小説

ひとつの分野をもう夢中で

花山育子さま

愛媛県西条市

花山商会（花山志郎社長）

本屋さんへ行くときは自然にインテリア関係の雑誌のコーナーへ行ってしまうんです。前から、インテリアにはとても興味がありましたし、最近では店の演出にも役立てようと思っただけ、よけい興味が出てきたんです。

それと、もうひとつ最近夢中になっているのが推理小説。いま横溝正史の「不死鳥」を読んでいます。ひとつの分野の本を読み始めると、たて続けに読んでしまうのがクセなんです。

「窓ぎわのトットちゃん」で

久しぶりにホノボノ気分

堤 文子さま

福岡県大川市

堤商会（堤 重喜社長）

私が読む本といえば、ほとんどが実用書です。中でも毎月欠かさず読んでおられるのが料理の本なんです。

それでも、最近高校に通っている娘がいりいな本を買ってくるので、一緒に読んで読んでいます。最近では黒柳徹子さんの「窓ぎわのトットちゃん」を読んで、久しぶりにほのぼのとした気分になりました。それと本ではありませんけど新聞はじっくり読みます。



↑フランスはもとよりヨーロッパ全域からの熱心なマニアで沸くパリシヨール、ここでもヤマハコーナーの人氣はナンバーワン



↓XJ650TやXZ550など'82年のデビューが待たれるニューモデルにヤングの熱い視線が集まっている

今月号のカラーページにご紹介した、東京モーターショーへの参考出品車のかずかず、このうちXJ650T(ターボ)、XZ550、XT550の3機種は'82年ヨーロッパ向けモデルとして発売が予定されているものです。

年ヨーロッパ向けモデルであるXT125、DT125LC、RD80LCの3機種とともに、東京モーターショーよりもひと月早い10月1日から11日まで開かれたフランスのパリシヨールで発表されました。未来感覚いっばいのフェアリングに世界初のキャブ・ターボエンジン

を搭載したXJ650TやDOHC8バルブ、水冷VツインのXZ550そしてYDISのXT550……など、初めてベールを脱いだ'82年ニューモデルと先進のヤマハ技術は、ヨーロッパでもにぎやかな話題を呼び起こしています。

'82年ヤマハ輸出用ニューモデル パリシヨールでも話題をさらう

XJ650T、XZ550、XT550……

Yamaha Topics

ヤマハニュースは
販売店みなさまの
情報誌です。



お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。
ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——
〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社宣伝部宣伝一課
「ヤマハニュース」係
☎05383(2)1111 内線356



SUGOのサーキット走行と 初秋のみちのく路をエンジョイ

★第一回みちのくツーリング大会ひらがる

「ヤマハ東京支店」 スポーツバイクの一大ブームがつづく中で、二輪車の安全運転に必要なルールやマナー、テクニクをツーリングとスポー

ーリング大会が開かれました。1ツランドSUGOのサーキット走行体験を通じてマスターしよう——と9月22、23日の両日、みちのくツーリング大会が開かれました。

増産に急ピッチ!

ヤマハ磐田第三工場操業開始



ヤマハ発動機では、今年2月から静岡県磐田市天滝に磐田第三工場の建設をすすめてきましたが、それがこのほど完成、本格操業を開始しました。総工費45億円をかけて完成したこの第三工場は、7万7700平方メートルの敷地に、鉄骨平屋建て1万1600平方メートルの工場と452平方メートルの付属棟からなっています。また生産設備には、各種公害防止施設を備えた自動鋳造設備を導入した最新鋭の鋳造専門工場。アルミ熔解炉、アルミ自動注湯ライン、鋳鉄熔解炉、鋳鉄自動注湯ライン、受電公害防止施設……などの設備でモーターサイクル、船外機、スノーモビルなどのシリンダーやヘッドなどの生産に当たっています。

この第三工場の稼働で、ヤマハの鋳造部門の一括生産体制が確立、生産効率も大幅に向上しました。

この大会は、(株)セフティプロジェクトの主催、ヤマハS.L.クラブ関東の協賛によるもので、当日は関東地

区のヤマハ販売店さんを通じて申込んだ24名が参加しました。女性1名を含む一行は、XJ班、RZ班などのグループに分かれ、9月22日、午前9時、東北自動車道・浦和ICを出発、約6時間にわたるハイウェイのクルージングを楽しんで午後3時すぎSUGOへ。

SUGOでは、インストラクターの先導でロードコース走行やライデ

イングスクールを体験、また夜はホテルくぬぎ山荘でのバーベキューパーティーですごしました。

2日目は、SUGOからさらに北上、松島湾の海岸線を走り大和ICから再び東北自動車道で帰路に。参加したお客さまからは「ぜひまた参加したい、また楽しいプログラムのツーリング大会を企画してほしい」という声が多数寄せられていました。



↑紅一点参加の岡洋子さんは神奈川県サイクルショップ岡さんの奥さま。XJ400で男性顔負けの走りをみせてくれましたが「以前にもYRSでタップリと基礎訓練をしていますので……」

→インストラクターを先頭に東北自動車道を一路SUGOへ



夜もくぬぎ山荘のバーベキューパーティ、世界G P映画会などもりだくさんの催しが



SUGOでは、ロードコースの体験走行。みんな初のサーキット走行に大満足



お楽しみメニューももりだくさん 地域の人気を集めた開店1周年感謝祭

〔ヤマハ東北(柳郡山営業所)〕 10月10日、11日の2日間、福島県郡山市の「乗りもの専科・つかもと」(塚本龍治社長)さんでは、シヨールームオープン1周年記念の大感謝祭を開催、地域のお客さまの話題を呼んでいました。

これは昨年12月にオープンした地上4階建てのシヨールームの1周年を記念したもので、当日はロードレ

イスの高井幾次郎、木下恵司、モトクロスの鈴木秀明のヤマハライダーによるチャリティサイン会をはじめ、モータースポーツVTR上映、わたあめコーナー、射的コーナーなどもりだくさんのお楽しみメニューをそろえて来場者に喜ばれたもの。

また同店から2キロほど離れた昭和自動車学校ではスクーターとビッグバイクにわかれての安全運転乗り

方教室も開かれましたが、この催しはこれを第1回目として以後定地定例で開催されることになっていきます。

地元紙「福島民報」の新聞広告をはじめラジオ、TVスポットまで駆使して事前の告知活動も万全だけに、当日は来場者の絶える間がなく1周年記念感謝祭は、大きな成果を収めて終了しました。



シヨールーム2階の用品コーナーもウィンター用品目当てのお客さまがいっぱい



一番人気は高井、木下、鈴木秀明の3ヤマハライダーによるチャリティサイン会



全国から238艇が参加 第7回ヤマハヨットウィーク浜名湖

毎年、秋にヤマハマリーナ浜名湖で行なわれるこの大会は、ヤマ

ハヨットのメインイベント。ヤマハセーリング協会(YSA)主催による艇種別全日本選手権大会です。今年10月9、11日に開催され北は北海道から南は沖縄・石垣島より、238艇・307名のディンギーセーラーが参加し、大会史上最大の規模にもりあがりました。また、各選手への応援に訪れる人々の数も年々増え、そのためレース観覧船も運航され、より充実したヨットウィークとなりました。

レースは、一人乗りヨット、二人乗りヨットを含め、合計7艇種が各クラスチャンピオンを競いあうものです。各選手ともYSAの全国8支部より選出されたメンバーだけに、優勝をめざして、迫力あるレース展開をみせていました。

↑シヨールーム1階でのお楽しみ抽選会風景

↓ヤマハ安全運転推進本部から特別指導員を招いて昭和自動車学校ではスクーターとビッグバイクそれぞれの乗り方教室も開催



‘80年代のバイク専門店、それは生活圏の交通問題のエキスパートでもなければなりません。交通社会の中でいまだどんなことが問題になっているのでしょうか？ 地域社会の交通問題のリーダーとして

どんな取り組みが期待されているのでしょうか？ このページにご紹介するさまざまなテーマは、どれも私たちが真剣に取り組んでいかなければならない問題です。

地域に密着した安全活動として—— 定着めざましい「母と子の交通安全教室」

「お母さんは交通安全指導員」を合言葉に、全国交通安全母の会連合会をはじめとする全国のお母さま方の組織とヤマハ安全運転推進本部との連携によって「母と子の安全教室」が本格的にスタートしてまる1年。

お母さまを通じて家庭内の交通安全に対する関心を高め、実際に知識や技能をマスターして事故防止にお役立ていただくというこの教室は、いまや日本の各地に根をおろしつつあるところ。地域に密着した安全活動として、販売店みなさまも積極的にご協力ください。

◎お母さまを通じて家庭内へ「安全意識」を！

関係行政機関や諸団体、業界等の努力にもかかわらず、昨年は10年ぶりに交通事故が増加するといった残念な結果が出てしまいました。しかも歩行者や自転車の事故例を見ると、運転免許を持っている人は事故に会うことが少なく、被害者の大多数が運転免許を持っていないというデータも示されています。当然のことながら、今日の交通社会では、歩行者や自転車に乗る人も、交通ルールを十分わきまえておく必要があります。

しかし現実はどうでしょう、この混乱した交通社会の中において、子供達はまったくといってよほど交通ルールを知らません。その上、子供達に交通教育を指導すべきお母さま方も、交通規則はどれも苦手……という傾向が強いようです。

「母と子の安全教室」では、お母さま自身に必要な交通安全の知識と、子供に対する安全指導のノウハウを、身につけていただくことによって、安全問題についての意識と現実のギャップを埋め、自信を持って家庭内の交通安全指導員となり、お母さまはもとより、子供を交通事故から守ることを目的に開催されているのです。

◎モータリゼーションの健全な育成に直結

日本の多くの家庭では、交通安全についてのしつけを、幼児期から子供の成長に応じて段階的に行なう習慣がありません。そのため、本来家庭の問題であるべき交通安全教育を学校に託しています。しかし、学校側にもまた対策に窮し、その結果が、高校生に対する「三不運動」といった形としての社会現象となつて現われているのはご存知の通りです。

このような風潮が、年齢に応じた交通社会への順応が困難になるという悪循環を生み出しているのです。ですからこのような時こそ原点に帰り、お母さまが自分の子供に対し、幼児の段階から家庭内で安全教育を行なう必

要性を認識しなければならないのです。

また、女性の原付免許所有者数が男性を大きく上まわっている現実からもわかるように、日常の気軽な交通手段としてのスクーターやファミリーバイクを必要とする主婦の増加はめざましいものです。

この教室に参加することによって、お母さまがファミリーバイクの安全指導を受けることは、自ら交通事故から身を守ることに役立つと同時に、この体験から、子供に対しドライバーの心理をふまえた交通安全のポイントを教えられるようになります。

こうした背景を考えた時、この催しにより多くのお母さま方が参加することは、子供や歩行者、あるいは自転車利用者等の、運転免許を持たないいわゆる交通弱者の事故を減少させる1つの大きな手段であるという点で、その意義は計りしれないとさえいえるでしょう。

◎56年度は200教室、12,000名の受講が！

「母と子の安全教室」は、全国の学校や幼稚園単位に組織されている全国交通安全母の会、地域婦人団体等が主催で準備を行ない、ヤマハ安全運転推進本部が講師の派遣、教材の提供などにより協力する形で、昭和50年からテストケースとして開催されてきました。

昭和54年、神奈川県高座郡の寒川幼稚園で45名のお母さまを集めて開催された第1回目以降、現在まで青森、和歌山、島根、鹿児島等の1都6県で実施されて来ましたが、どれも、受講された方だけでなく、警察、交通関係者の評価は高く、受け入れ体制の整備につれて本年度からは一段と活発に開催されています。

これら「母と子の安全教室」の平均的な姿は1開催で講師6名、受講者60名前後。50坪程度の実技教育のできる屋外スペースを利用し、講習時間約3時間。その内容は①正しい乗り方の練習(2時間)、②安全のための勉強(約1時間)、③質疑応答。

本年度はヤマハ安全運転推進本部の重点活動のひとつとして展開され全国で約200回、12,000名を上まわる受講生が見込まれています。

そして、各地の教室で販売店みなさまの熱心な協力がみられるのも「母と子の安全教室」の特徴。多くの販売店さまは「地域社会の交通安全に直結するこうした一般家庭対象の安全教育は、二輪業界全体のつとめ」との見地から、ひときわ熱心な指導を展開されているのです。そして、この積極的な姿が、地域社会に対するお店の信頼をさらに確固たるものにしていただいております。より一層のご協力をよろしくおねがいいたします。





よりどり・みどり

秋から冬のSUGOイベント

紅葉たけなわの秋から、待望のスキーシーズンを迎える冬のはじめまで、スポーツランドSUGOではイベントが大賑わい。新しい活力の充電に、お客さまとのコミュニケーションに、ご利用いただけるプログラムを用意しました。

みちのくの情趣を味わおう!

いも煮会

11/15(日)まで

みちのくに伝わる風習をお味わいください。●費用/大人・中高生=1,800円、小学生以下=1,300円(入園料も含む)



いま注目の健康法を学ぼう!

エアロビクス研修セミナー

11/18(水)~20(金)

アメリカで大流行の新健康法を基礎から学ぶ3日間。あなたの健康状態をチェックする絶好のチャンスです。●費用/お1人様50,000円(宿泊、食事、テキスト代を含む)



狙うならいま!フルマラソン完走

第1回SUGOマラソン

11/22(日)

日頃ジョギングで鍛えているあなたにピッタリなのが、これ。42.195kmのフルマラソン、スポーツランドSUGOをスタートに、蔵王山麓を走ります。10kmコースもあります。



バージンスノーから春スキーまで

ワンダフルSKIING'82

12/1(火)~3/31(水)

2泊3泊のウィークデーコースや週末コースをはじめ、初滑りスキーツアーやX'マス・スキーツアー、お正月スキーツアーなど企画がいっぱい。アフタースキーも充実です。



鍋を囲んでコミュニケーション

忘年会・新年会パック

12/1(火)~1/31(日)

いろいろ囲んだ鍋料理。お店の仲間やお客さまどうぞ。●費用/お1人様3,600円、5,000円、5,600円(税・サービス料込み)のコースが用意。琵琶鍋(鮫鱈鍋)、美狩鍋(スキヤキ)、景山鍋(中華鍋)の3種。宿泊をセットしたパックもあります。



ひと味ちがったお正月体験

お正月パック

12/31(木)~1/3(日)

おもちつきからジャンボテレビでの紅白観賞、新春ファミリーパーティーもあれば、ジャンボカルタやこけし絵付け教室も……。そう、ことしのお正月こそ、イベントいっぱいSUGOでお過ごしください。●費用/お1人様・大人=15,000円、子供11,000円(1泊2食、税・サービス料込み)



●詳細についてのお問合せ・ご予約は下記へどうぞ

スポーツランドSUGO

〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎022483-3111

SUGO仙台営業所

〒980 仙台市一番町1-4-1福田ビル1F ☎0222-66-8401

SUGO東京営業所

〒105 東京都港区東新橋1-1-2 秀和新橋ビル3F ☎03-574-8021

こ入園料

平日 日・祝日

小学生 150 200

幼稚園 えん えん

中学生 300 500

高校生 えん えん

大人 500 800

えん えん



この冬、ホット・ライディング。

前号でご紹介したスクーター用ウインター用品につづいて、スポーツユーザーのためのウインターウェアとアクセサリの登場です。

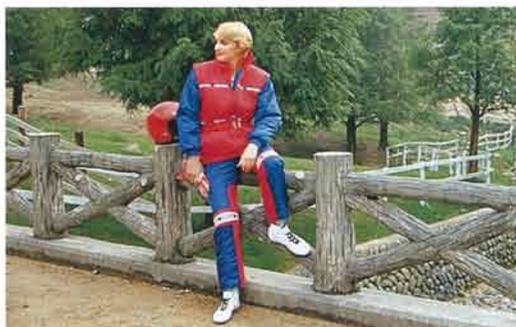
特にウインターウェアは、防寒性、機能性、安全性をポイントに冬のライダーズウェアとしてヤマ

ハが開発したオリジナル商品。袖口、ファスナー、ポケットなどさり気ないところにまでライダーのための工夫がこらされています。この冬も暖かく、安全にスポーツバイクをお楽しみいただくために、どうぞ積極的におすすめください。



ウインターオーバーオール

●カラー：ダークブルー ●サイズ：M、L、LL ●素材：表ナイロン100%、中キルト・ポリエステル綿、裏ナイロン100% ●標準価格16000円



ベストジャケット

●カラー：ダークブルー&レッド ●サイズ：S、M、L、LL ●素材：表ナイロン100%、中キルト・ポリエステル綿、裏ナイロン100% ●標準小売価格19500円

オーバーパンツ

●カラー：ダークブルー&レッド ●サイズ：M、L、LL ●素材：内股部コットン100%、腰部ストレッチファブリック（他はベストジャケットと同一） ●標準小売価格15500円



ライダーズーツ

●カラー：ブラック・レッド ●サイズ：M、L、LL ●素材：ナイロン65%・ウール30%・オベロン5%、パット牛皮 ●標準小売価格27000円



ビジネスジャケット

●カラー：ブルー ●サイズ：M、L、LL ●素材：表ナイロン100%、中キルト・ポリエステル綿、裏ナイロン100% ●標準小売価格9800円



ゴーグル112MX PETROID

●フレームカラー：ブラック、ホワイト ●標準小売価格2700円



アンダーマスク

●カラー：ブラック、ダークブルー、ホワイト ●標準小売価格1200円



ウインターライダーグローブ No1-4

●カラー：ブラック (No.1-2)、ホワイト (No.3-4) ●フリーサイズ ●標準小売価格6000-8000円

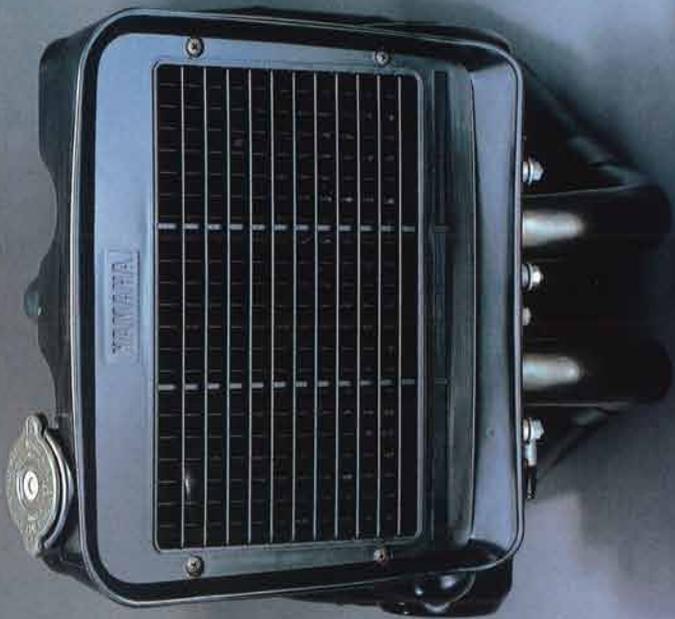


K730プロトタイプブーツ

●カラー：ブラック ●サイズ：24cm-27cmまで7種 ●標準小売価格30000円

※ここにご紹介したウインター用品類をすべてもり込んだ「81秋冬バイクライフカタログ」もご用意しました。どうぞご利用ください。
※各商品の部品番号は、アクセサリカタログ、ウインター用品カタログをご参照ください。ご発注は部品番号でおねがいいたします。

サーキットを揺がす、あの2ストロークの瞬発力が欲しかった。



YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新員2500
TEL05383(2)1111



●2サイクル・水冷・トルクインジェクション・347cc ●最高出力55ps/8,500r.p.m.
●最大トルク23.8kg-m/7,800r.p.m. ●標準現金価格 ¥408,000



●2サイクル・水冷・トルクインジェクション・247cc ●最高出力35ps/8,500r.p.m.
●最大トルク23.5kg-m/7,800r.p.m. ●標準現金価格 ¥354,000



●2サイクル・水冷・トルクインジェクション・490cc ●最高出力72ps/9,000r.p.m.
●最大トルク30.8kg-m/8,000r.p.m. ●V.E.I.S.搭載 ●標準現金価格 ¥776,000

RZ TECHNOLOGY

2-STROKE LIQUID-COOLED RZ350 / RZ250 / RZ50

●カタログ掲載のものは標準価格の3人乗車用車（50円税多）までお送り下さい。●ヘルメットもご用意。●定期点検を受けましょう。●バイクの改造はやめましょう。

2ストロークならではの、胸のすく加速感。この2ストローク本来の醍醐味をいっそのまにか忘れかけていたのではない。4ストローク車
が主流になりつつある状況の中で、もう一度原点に帰ってみたい。もう昔話の部類かも知れぬが、RZの開発はこうしてスタートした。
設計者、エンジニア、デザイナーからなる開発チームが「走りの本質論」を徹底的に討議した結果だった。そして、RZの基本デザイン
ションを市販レーサーTZから受け継ぐことで意見は一致した。何故なら、レーシングマシンは、走りの科学の究極であつてはからである。
しかも、私たちヤマハは、常にレースに参加してきた歴史と、2ストローク・チクログロジの蓄積というかけがえのない財産をもつていた。
ここで、その技術的なことを詳しく述べるスペースはない。（いやむしろ、あなたがはくご存知のことだろう。）ただ、RZシリーズの大きな
価値を聞くにつけ、私たちの考えが正しかったことを誇りに思う。RZがある限り、2ストロークのエクゾーストノートは消えぬ。ゼーエス。

広告活動ご紹介

RZテクノロジー——これは11月発売の2輪専門誌に掲載するRZシリーズの広告です。いまスポーツユエーザーの共感を一身に集めるヤマハスポーツシ
リーズのプロダクト・コンセプトを改めてアピールするもの。もつが沸騰中の東京モーターショーにおける参考出品車との話題とともに、秋のスポーツ商戦
にどうぞご活用ください。